

《長崎新聞 平成25年6月24日朝刊より転載》

**【質問】** 糖尿病の指標であるHbA1c（ヘモグロビン・エー・ワン・シー）の基準値が変わったと聞きましたが、どういうことでしょうか。（63歳、無職女性）

糖尿病の指標

**【回答】** HbA1cは、全身に酸素を運ぶ赤血球のヘモグロビンに余分なブドウ糖が結合したものです。数値は全ヘモグロビンに占める割合(%)を表しています。血中の糖の濃さを表す血糖値は食事や運動で大きく変わりますが、HbA1cは過去1〜2カ月間の平均的な血糖値が分かります。糖尿病か否かの診断だけでなく、治療がうまくいっているかどうかの判断にも使います。

4月に国際基準に統一

HbA1cの表記は4月に全面的に変更になりました。これまでは日本独自のJDS値を使っていましたが、国際化の時代に合わせ、世界的に使われているNGSP値に統一されます。

健康診断の結果を見て「昨年よりも数値が上がっている」と心配される方がおられるかもしれません。慌てないでください。JDS値に「0・4」を加えるとNGSP値となりますので、前年よりも0・4%以上数値が上がっていない

A1cが6・5%以上の場合は糖尿病が強く疑われ、「病院受診を推奨するレベル」としています。糖尿病治療中の方は合併症予防のために、7・0%以下に保つことを治療の目標値としています。

6.5%以上は受診推奨

することが多いのですが、放置すると目や腎臓、神経などに細小血管合併症を引き起こし、目が見えなくなったり、おしっこが出なくなったり、人工透析が必要になったり、手足がしびれたり、足や手の切断を余儀なくされたりと、生活する上で非常に苦しい状態となります。また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。糖尿病の合併症で苦しむ患者さんの数は今なお減少していません。糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。そのためにも年に1度は特定健診や人間ドックを受けることが重要です。（県医師会）



た。書類も両方の数値を併記していましたが、NGSP値だけの記載となります。

日本糖尿病学会では新しい表記の採用に伴い、Hb

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。